

ふじのくに茶の都ミュージアム公開講座 世界茶文化学術研究会議「岡倉天心と茶の本」聴講者募集

1 概要

趣 旨：『茶の本』は、1906年（明治39年）に岡倉天心がニューヨークで出版した英文の茶の湯論です。東洋思想を背景に壮大な世界観をもって茶の湯を論じ、今でも茶の湯を考える上で、示唆に富む名著です。

この東洋の伝統精神文化を解いた名著を日本と中国を代表する茶文化の研究者が探求します。

日 時：平成30年4月24日（火）10:30～25日（水）16:30

主 催：世界茶文化学術研究会・ふじのくに茶の都ミュージアム

場 所：ふじのくに茶の都ミュージアム 多目的ホール（静岡県島田市金谷富士見町 3053-2）

参加費：1,000円

2 日程

■ 1日目 4月24日（火）

10:30 開会
11:00～12:00 研究発表1
12:00～13:00 昼食
13:00～14:00 研究発表2
14:00～15:00 研究発表3
15:00～15:30 休憩
15:30～16:30 研究発表4
16:30～17:30 研究発表5

■ 2日目 4月25日（水）

13:00～14:00 研究発表6
14:00～15:00 研究発表7
15:00～15:30 休憩
15:30～16:30 総合討論
16:30 閉会

※発表の順序や内容は追ってお知らせいたします。

3 発表者（敬称略、順不同）

熊倉功夫（ふじのくに茶の都ミュージアム館長）、田中仙堂（大日本茶道学会会長）、高橋忠彦（東京学芸大学名誉教授）、中村修也（文教大学教育学部教授）、沈冬梅（中国社会科学院歴史研究所研究員）、馬曉俐（浙江大学外語学院教授）、関剣平（浙江農林大学茶文化学院副教授）、中村羊一郎（静岡産業大学総合研究所客員研究員 コメンテーター）

4 参加費及び申し込み方法

- ・参加費1,000円（2日間共通。1日だけの御参加でも同額です。）は、当日受付でお支払いください。
- ・往復はがきに必要事項を記入し、ふじのくに茶の都ミュージアムへ郵送してください。※4月20日必着、先着100名まで。（ファックスで必要事項をお送りいただいても結構です。 FAX：0547-46-5007 ）

<p>〒428-0034 【往信】 島田市金谷富士見町 3053-2 ふじのくに茶の都ミュージアム 世界茶文化学術研究会議事務局</p>	<p>①お名前 ②御所属 ③御住所 ④当日の緊急連絡先</p>
<p>〒 郵便番号 【返信】 あなたの御住所 あなたのお名前</p>	<p>何も記入しないでください。</p>

5 その他

1日目の4月24日（火）はミュージアムの休館日となるため、見学及び食事等はできません。昼食は御持参いただき会場内でお召し上がりいただくか、周辺の飲食店を御利用ください。

2日目の4月25日（水）の午前中は、ミュージアムの見学や体験メニューをお楽しみください。（別途料金が必要です。）

□■□お問い合わせ□■□

ふじのくに茶の都ミュージアム

〒428-0034 静岡県島田市金谷富士見町 3053-2

電話：0547-46-5588 FAX：0547-46-5007

<https://tea-museum.jp>



■ アクセス ■

